

## PRE-IJET29: JATPharma 製薬分科会セッション

日付: 2018年6月29日  
時間: 9:00 am - 4:15 pm  
場所: 大阪市中央公会堂

本年度は全セッション参加型のものを目指したく、翻訳者の実地特訓になるプログラムを組ませていただきました。まずは昨年11月のBen Tompkinsのプレゼンの反応を受けて、今回は引き続いてCATツールの実践ワークショップを行います。続いて、柳瀬先生が以前講演した非常に有意義なFuzzy verb(日本語では一緒の表現でも、英語はそれぞれの状況によって変わるもの)の多数の例文を含む内容をアップデートし、今回はより多くの方に参加していただきたいと思います。午後からはいつもの楽しいTonyのインタラクティブ・クイズでしっかり脳と翻訳筋のBootcampをしてもらい、1日の最後には、小泉・池上で、ホットながん領域における作用機序、Population PK、そして免疫学のおさらいに続いて、皆さまにも作用機序情報を特に一般人向けにどのような言葉で伝えるべきか、考えていただきます。(事前課題あり)

ぜひ皆さんのふるってのご参加をたのしみにお待ちしております。

- **Session 1: 9:00-10:30** ベン・トンプキンス  
医療翻訳者のためのCATツール入門 - Felix などの場合
- **Session 2: 10:30-12:00** 柳瀬大輔  
動詞こそ英文の主役: 動詞の日英翻訳再考
- 昼食: 12:00 - 12:55
- **Session 3: 13:00-14:30** トニー・アトキンソン  
大好評! トニーのインタラクティブ・クイズ ~日英医薬翻訳と英文医療ライティング~
- ネットワーキング休憩: 14:30-14:45
- **Session 4: 14:45-16:15** 小泉志保、池上小湖  
How Does it Work? ~作用機序、母集団薬物動態、免疫~

会費: 午前セッション 2000円 (JAT 会員)、2500円 (非会員)  
午後セッション 2000円 (JAT 会員)、2500円 (非会員)

申込: <https://ijet.jat.org/ja/register>

\* 「IJET-29 Pre-IJET 分科会 会議 (午前/午後)」チケットをご購入ください。

JAT 会員割引を受けるにはログインしてください。

お問い合わせは [jatpharma@jat.org](mailto:jatpharma@jat.org) までどうぞ。

### [SESSION 1] (9:00-10:30)

#### メディカル翻訳者のための CAT ツール入門 - Felix などの場合

医薬翻訳仲間から「CAT ツールは使っていない」と聞かされて驚くことがよくあります。使い方を覚えるのに時間がかかりそうで手が出しにくいのでしょうか。それとも、高額な投資に二の足を踏んでいるのでしょうか。このセッションでは、まず SDL Trados と Felix の 2 つの製品の特長についてご説明し、医薬翻訳者が使用するにあたってどのような工夫をすべきかをお見せします。

このセッションのワークショップに参加される方は、ノートパソコンをご持参ください。バッテリーをフル充電状態にし、Felix を予めインストールしておくことをお勧めします(こちらから無料でダウンロードできます：<http://felix-cat.com/>)。

(本セッションは CAT ツール初心者を対象としていますが、CAT ツールを日頃から使いこなしている方もぜひご参加いただき、ご質問やご意見をお聞かせください。)

### [SESSION 2] (10:30-12:00)

#### 動詞こそ英文の主役：動詞の日英翻訳再考

ここ大阪で開催された JATPHARMA の集会で、「検討する、認める、対応する」といった、日本人にとっては使い勝手のよい万能動詞の英訳について私がお話ししたのは二年半前のこと。そのときは、日本語の動詞を訳す場合、逐語訳はうまくいかないことが多く、常に文脈に照らして訳さなければならない、とまとめました。その後、経験をへて私の考えも形が変わり、今では「的確な英語の動詞を選ぶ腕前こそ、日英翻訳の壁を超える決め手」と確信しています。今回は、たとえば「XX の妥当性について説明する」という原文から動詞 justify を思いつくように、ある日本語の文章が伝えようとする「行為」を読み取り、それに一番ぴたりあてはまる英語の動詞を探し出す手がかりについてお話ししたいとおもいます。

### 昼食タイム (12:00-13:00)

### [SESSION 3] (13:00-14:30)

#### 大好評！トニーのインタラクティブ・クイズ - 日英医薬翻訳と英文メディカルライティング

こちらにご参加いただく方はぜひスマートフォン、タブレット、あるいはその他のインターネットにつながるデバイスをお持ちください。トニー・アトキンソンが昨年 11 月に引き続き、持ちネタであるバイオメディカルサイエンスや医薬分野の文書を使った日英翻訳、英文法やライティングスタイルの問題をクイズ形式で出題します。答えは選択式か一文で回答できるもので、その場で正解をお知らせします。スピード感のある、わいわいと楽しめるセッションを目指していますので、乞うご期待！

### [SESSION 4] (14:45-16:15)

#### How Does it Work? ～作用機序、母集団薬物動態、免疫～

製薬市場の中でもオンコロジーは発展めざましい領域です。めまぐるしいスピードで次々と新薬が上市されるため、医薬品開発にまつわる最新技術を常に把握し続けることは至難の業といえるでしょう。そんな悩める翻訳者のために、今回のセミナーでは、最新の抗癌剤の作用機序や、母集団で薬物動態を推定する仕組みなどを学んでいただくとともに、実践として、それらに関連する日本語の原文をうまく英訳するコツを参加者全員で考えていただきます。薬学周辺(薬理学、薬物動態学、生物統計学を含む)と翻訳を両方学べる参加型セミナーです。(内容は変更の可能性あり。) [課題はこちらからダウンロード](#)。

講師：

**ベン・トンプキンス**

1994年、現在在住している福岡の地で本格的に翻訳者としての仕事を開始。製薬およびバイオメディカル分野の翻訳を専門とする。トンプキンス・バイオメディカル・コミュニケーションズ株式会社の設立者であり、製薬会社や研究機関、大学に翻訳をはじめとする様々な言語サービスを提供している。2016年6月から2017年6月まで日本翻訳者協会（JAT）の理事長を務めるほか、英日・日英翻訳国際会議（IJET）の国内外での開催に3回にわたり携わっている。連絡先：ben@tompkinsbiomedical.com

**柳瀬大輔（やなせ だいすけ）**

農学部にて植物生理学を専攻。化学企業に20年間勤務、農薬の研究開発や医薬品中間体の品質管理を経験した後、2003年、語学力を活かして製薬企業に転進。10年間勤務し、安全性管理部門や、後には薬制部門に所属、英文メディカルライティングにたずさわる。現在翻訳会社にて医薬関連の翻訳および文書作成の監督と品質保証、人材育成を担当。英文作成の技能を、国外に住むことなくどこまで身に付けることができるかに挑戦中。

**トニー・アトキンソン**

フリーランス医学／医薬翻訳者。西オーストラリア大学にて物理学を専攻（BSc）。科学の教職に10年間就いた後、1988年に日英翻訳者に転向。1992年にフリーランスとなり、現在は主に医学、薬剤開発分野の翻訳を行う。また、クイーンズランド大学大学院修士課程（日英・英日翻訳）にて日英翻訳の教授を行うほか、日本のクライアント向けに医薬翻訳や英語による科学的ライティング法に関するセミナーやワークショップも行っている。日本翻訳者協会（JAT）理事。JAT 製薬翻訳分科会（JATPHARMA）元委員長。

**池上小湖（いけがみ さこ）**

Massachusetts College of Pharmacy 大学院、臨床薬学の Doctor of Pharmacy (PharmD) 学位取得。病院薬剤師、製薬企業 R&D における薬物動態研究 (Phase I 試験)、前臨床研究などを経てフリー医薬コミュニケーターへ。児童文学翻訳などもかじっている。大学などで非常勤講師として医学・薬学英語を教える。現 JAT 製薬翻訳分科会 (JATPHARMA) 委員長。

**小泉志保（こいずみ しほ）**

医薬翻訳者（日本語→英語、英語→日本語）。神戸市外国語大学外国語学部国際関係学科卒業。主に治験関連文書のほか、文献等を手がける。翻訳学校等で講師も務める。日本翻訳者協会（JAT）、日本翻訳連盟（JTF）、日本メディカルライター協会（JMCA）会員。